一ページ 三段組 25×20 文出し 13行17字

私の見た大鹿先生

―私の見た大鹿先生―

山本三雄

大鹿さん（先生という敬語ばかりしつさんしと呼んだ方が親しみを感じるので失礼する）の全貌については、私は全く無知であるから只一つ渡良瀬川鉱毒事件に関し、未だ世間によく知られざる大鹿さんの苦悩さ れた事実を述べて見たいと思う。

初対面の動機

昭和十六年の夏の頃、朝日新聞社利通信部